

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年8月7日（金）

2 確認箇所

- ・大型廃棄物保管庫（図1）
- ・増設雑固体廃棄物焼却設備（図1）
- ・Fタンクエリア（図1）

3 確認項目

- （1）大型廃棄物保管庫における架台設置工事の状況
- （2）増設雑固体廃棄物焼却設備の状況
- （3）増設雑固体廃棄物焼却設備廃棄物貯留ピットから回収された水の貯留等の状況

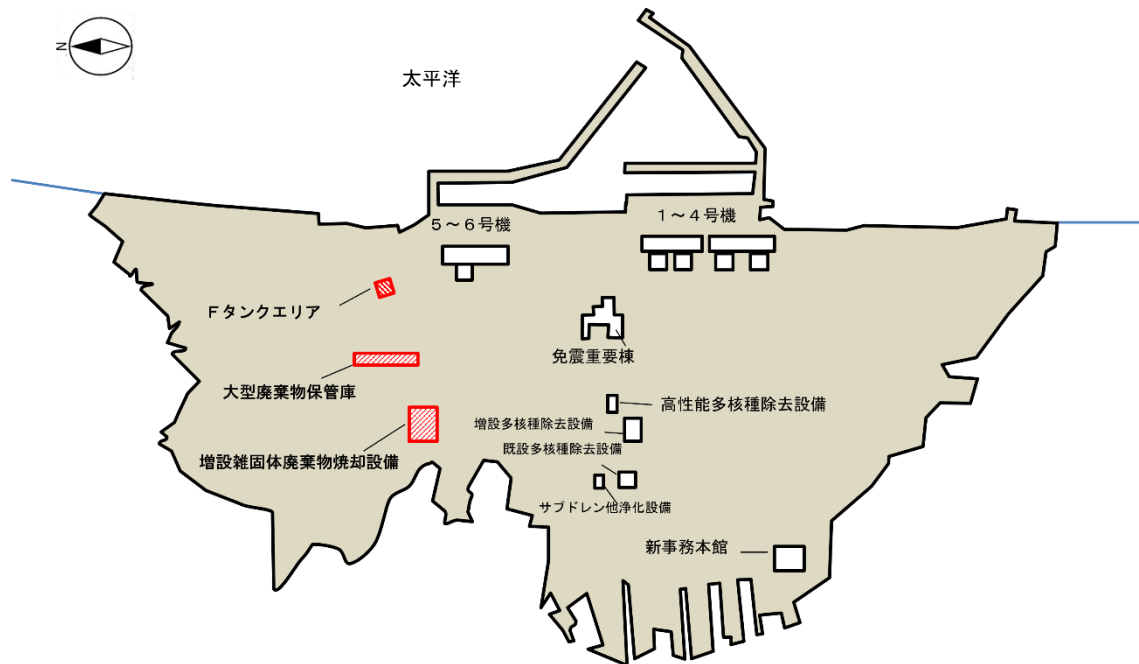
4 確認結果の概要

（1）大型廃棄物保管庫における架台設置工事の状況

大型廃棄物保管庫（以下「保管庫」という。）は、屋外で一時保管されている使用済セシウム吸着塔等を保管するため、5／6号機北西側造成地内に整備が進められている。保管庫については、令和3年2月及び令和4年3月に発生した福島県沖地震を踏まえ、原子力規制委員会が策定した「東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における耐震クラス分類と地震動の適用の考え方（令和4年11月）」に基づく耐震クラスの見直しにより、保管庫の耐震補強等が実施された。

今回、耐震補強工事が令和8年2月に完了し、吸着塔を固定する架台の据付工事が行われることから、架台据付工事の状況について確認した。（前回確認：令和8年4月24日）

- ・確認時には架台の部材搬入、荷卸し作業が行われていた。（写真1）
- ・クレーンでの吊り上げの際は、管理員が周辺の状況を確認しており、各作業手順において作業員相互の声かけにより意思疎通、安全確認が行われていた。（写真2）
- ・資材は整然と仮置きされており、確認した範囲では異常は見受けられなかった。（写真3）



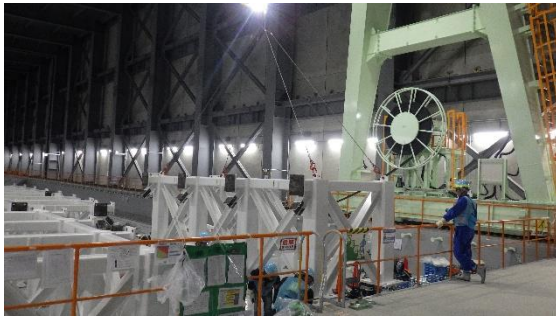
(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)
大型廃棄物保管庫内部の状況



(写真 1－2)
架台部材の仮置き状況



(写真 2)
架台部材の荷卸し作業の状況

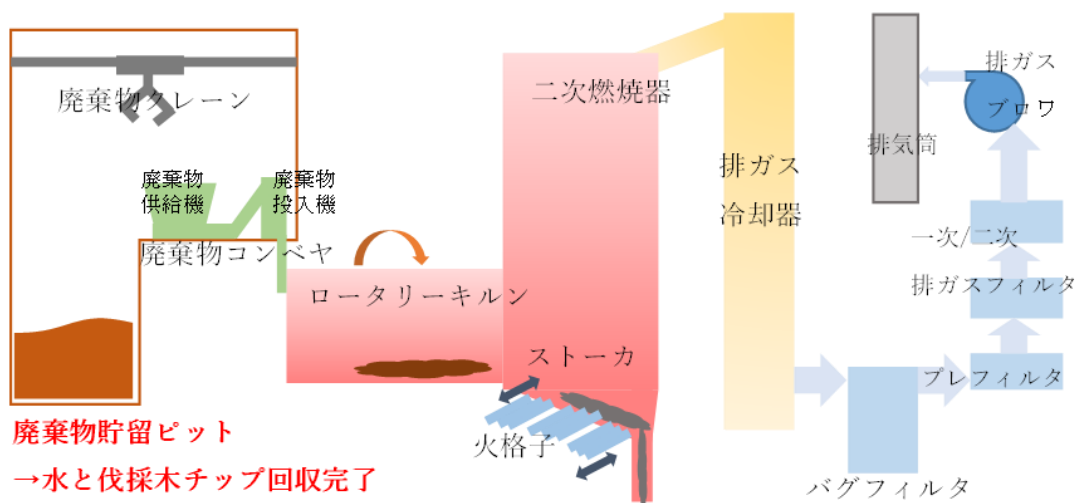


(写真 3)
資材の仮置き状況

(2) 増設雑固体廃棄物焼却設備の状況

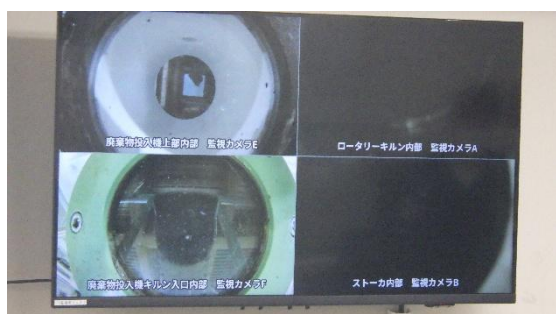
東京電力では、令和 6 年 2 月に発生した増設雑固体廃棄物焼却設備の廃棄物貯留ピット（以下「ピット」という。）における伐採木チップからの水蒸気発生事案により当該施設の運用を停止し、原状復旧や再発防止対策の工事等を実施していた。

再発防止対策工事が令和 8 年 7 月に完了し、8 月 5 日より焼却運転（調整運転）を再開したことから、今回、増設雑固体廃棄物焼却設備の状況を確認した。（図 2）（前回確認：令和 8 年 7 月 3 日）



(図 2) 増設雑固体廃棄物焼却設備の模式図（東京電力資料を参考に作成）

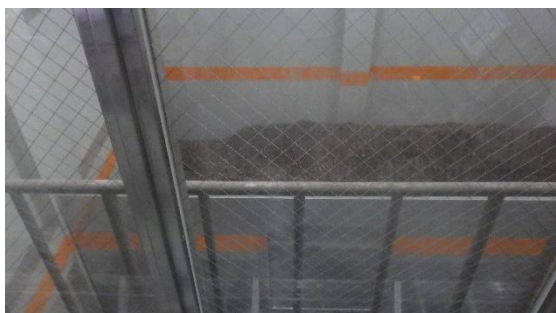
- ・確認時は焼却運転を行っておらず、廃棄物貯留ピット内に置かれた廃棄物の温度測定等が行われていた。（写真４）
- ・温度監視設備による廃棄物の温度測定は、廃棄物クレーンにより廃棄物を持ち上げ、持ち上げられた部分の下部にある廃棄物の表面温度を測定することで行われていた。（写真５）
- ・水蒸気発生事案の再発防止対策として、廃棄物貯留ピットの容量低減、温度監視、散水、汚水回収の各設備が設置されていた。
- ・散水設備及び汚水回収設備の操作盤が操作室に設置されていた。（写真６）



（写真４）

増設雑固体廃棄物廃棄物焼却設備の状況（操作室のモニターから確認）

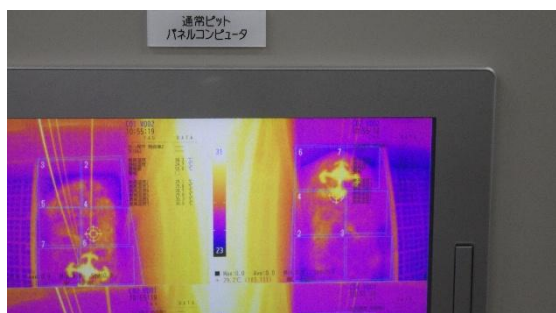
焼却を行っていないため、画面右側のロータリーキルン及びストローカは暗く写っている。



（写真５－１）

廃棄物ピット内の状況（クレーン操作室から確認）

画面手前側は仕切りによりピット容量を削減した部分。



（写真５－２）

廃棄物の温度監視状況（操作室）

温度が最も高い部分で32℃であり、異常な高温となっている部分は確認されず。



（写真６）

散水設備及び汚水回収設備の操作盤（操作室）

(3) 増設雑固体廃棄物焼却設備廃棄物貯留ピットから回収された水の貯留等の状況

増設雑固体廃棄物焼却設備での水蒸気発生事案の際に廃棄物貯留ピットに注水された水（以下「ピット水」という。）は回収され、FタンクエリアのN2タンクに移送、貯留されている。ピット水は仮設水処理設備により浮遊物質等を除去後、増設雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉に噴霧され蒸発散処理される予定となっており、仮設水処理設備での処理は令和8年6月末より実施されている。

今回は、FタンクエリアN2タンク及び仮設水処理設備の状況を確認した。（前回確認：令和6年5月27日）

- ・FタンクエリアN2タンクの出口弁は閉状態となっており、閉止板が取り付けられていた。タンク周辺において、貯留水の漏えい等の異常は見られなかった。（写真7）
- ・仮設水処理設備周辺において、貯留水の漏えい等の異常は見られなかった。（写真8）



（写真7）

ピット水が貯留されているFタンク
エリアN2タンク



（写真8）

仮設水処理設備の設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。